

市の情報、これからは テレビでも 見る時代



山岡保育園で園児たちの給食の様子を撮影。「みんなえなのこげんきなこ」で放映

恵那市は、自治体として全国で初めて、市内全域に光ケーブル網を整備し、すべての市民がIT技術の恩恵を受けられるようになります。市内には、テレビの映りが良くない、高速なインターネットサービスが受けられないなど、地域間に情報格差が生じていました。今後、IT技術を利用した行政サービスを展開していくうえで、情報通信基盤の確立は市民生活になくてはならないものなのです。合併の協議でも課題に上がり、市の総合計画では高度情報通信基盤の整備として位置づけられました。この光ケーブル網の整備に合わせ、地域の情報発信の核となる、番組などを制作する会社(株)アミックスコムを立ち上げ、ケーブルテレビなどを利用した、市独自の情報交流と情報発信を進めていきます。では、市の進めるケーブルテレビとはどんなものなのでしょうか。ここでは、ケーブルテレビについてご紹介します。

問い合わせ 情報課(内線337・338)

光ケーブルがつなく 市民の情報網

平成18年度から3カ年で市全域に光ケーブル網が整備されました。市内には、テレビの映りが良くない地域、高速なインターネットサービスが受けられない地域もありました。テレビの地上デジタル放送への対応、防災行政無線の機器の老朽化と方式の統一などの課題もありまし

た。このような地域の情報環境の格差を解消するため、光ケーブル網の整備を進めてきました。この整備により、全戸に音声告知器を無料で設置したほか、光ケーブルテレビ、映像や文字により地域情報を提供するえなっコチャンネル、超高速インターネットなど、いろいろな情報が身近なものになります。このケーブル網が市内の情報交流の新しい基盤の1つとなります。

多彩なチャンネル、 鮮明な画像と音声

光ケーブルテレビの魅力はなんと、言っても多彩なテレビチャンネルです。地域の話題やニュース、イベント、地域活動など、市の情報を放送する「えなっコチャンネル」をはじめ、地上アナログ放送(平成23年7月24日まで)、地上デジタル放送、BSデジタル放送と、約250チャンネルの放送を行っています。(チャンネルの種類は下表をご覧ください。)

ケーブルテレビは、光ケーブルを使って配信するので、鮮明で安定した画像と音声をお届けできます。各家庭の個別アンテナは不要となり、雨や風、障害電波による画像や音声の乱れもなくなります。ケーブルテレビに加入いただくと、ご自宅のすべてのテレビで高品質な画像と音声を楽しむことができます。

市内に張り巡らされた光ケーブルが、音声告知放送を含むすべてのサービスを配信しています。光ケーブルテレビの視聴には、まず「音声告知器」の設置と、(株)アミックスコムの有料サービスへの加入が必要となります。

多彩なテレビチャンネル

地上デジタル	地上アナログ	BSデジタル	BSアナログ
1CH 東海テレビ	1CH 東海テレビ	NHKBS1	NHK衛星第1
2CH NHK教育	2CH ショップチャンネル	NHKBS2	NHK衛星第2
3CH NHK総合	3CH NHK総合	NHKハイビジョン	
4CH 中京テレビ	4CH ぎふチャン	BS日テレ	光PerfectTV!
5CH CBCテレビ	5CH CBCテレビ	BS朝日	スポーツ、ドラマ、アニメ、
6CH メーテレ	6CH えなっコチャンネル	BS-i	ニュース、経済、映画、音楽
8CH ぎふチャン	7CH 中京テレビ	BSジャパン	などの49チャンネルをベー
(10CHと12CHは今冬以降	9CH NHK教育	BSフジ	シックパックとして放送。
に放送予定)	10CH テレビ愛知	BSイレブン	(有料)追加でオプション
10CH テレビ愛知	11CH メーテレ	BS2wellV	チャンネルも多数。
12CH えなっコチャンネル	12CH QVC	WOWOW(有料)	
		スターチャンネル(有料)	

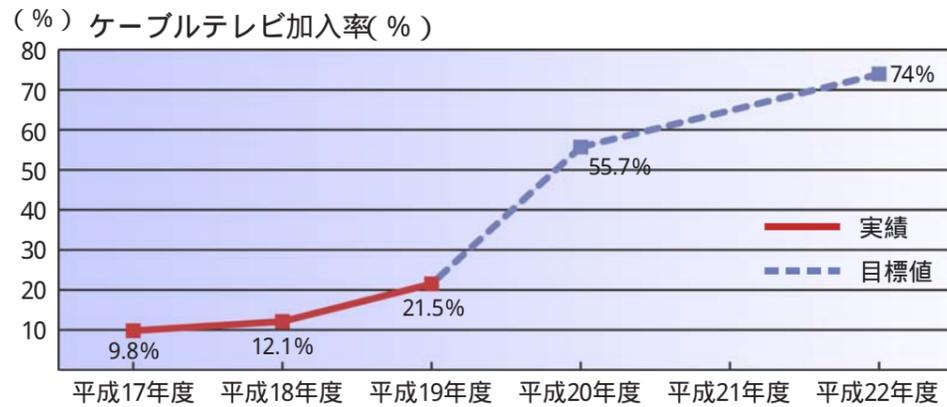


子どもフェスタの撮影でレポーターを務める中学生ボランティアの二人（放送されたコミュニティ番組より）

文字放送と動画放送により、最新・詳細情報を放送しています。動画放送では、市内で行われた催しや政からのお知らせなどのコミュニケーション番組、農業情報番組や健康番組、子ども向け番組を放送しています。本年度中には、天気予報番組を放送する予定もあり、さらなる充実を図っていきます。

加入者が支える えなっコチャンネル

「えなっコチャンネル」は、ケーブルテレビに加入いただくと受信することができ、市独自の情報チャンネルです。



これら番組制作に掛かる制作費は、加入者からの視聴料の一部で賄われており、加入者が支える「えなっコチャンネル」といってもよいでしょう。加入者が増加し番組制作費も増えれば、より充実した番組が

制作でき、購入番組も増加し、市の情報チャンネルとしてより充実させていくことができます。

市は、平成22年度までに加入率を74%にすることを目標に、加入促進を進めています。昨年度末の加入率は21.5%で、本年度10月で33.1%となっており、目標達成に向けて今後さらなる加入促進を進めていく必要があります。

市民も参加できる番組作り

えなっコチャンネルでは、市民の顔や声が届く番組作りを目指しています。

市民が参加する催しや講演会、発表会、地区のお祭りなど、今まで知らなかった地域の情報も知ることができます。

「みんなえなのこげんきなこ」では、市内の全保育園や幼稚園を取材し、将来を担う子どもたちの元気な姿を紹介しています。

今後は、視聴者の方が取材した映像を放送するなど、市民参加型の番組も計画しています。

えなっコチャンネルは、市民が情報を受け取るチャンネルでもあり、市民が情報を発信するチャンネルでもあります。

番組が出来るまで

15～30分の番組を1つ制作するのに、全体でおよそ42時間かかります。その時間のほとんどが編集作業です。一日かかって撮影したものを、15分程度の番組に編集します。時間と労力の掛かる仕事です。ここでは、一つの番組が出来るまでの主な作業の流れを紹介します。



1

企画・構成・台本
番組づくりは企画から始まります。この企画会議が番組を生み出す最初の一步となり、番組の命ともいえます。



2

取材・撮影
続いて、取材と撮影です。撮影には複数台のカメラで行うこともあります。取材先の現場が、山岡にあるスタジオでカメラ撮影を行います。



3

編集
写真はリニア編集機と呼ばれる機械で、映像・音声の編集とテロップの挿入を行います。2～3時間撮影したものを、15分程度の番組に編集します。一連の流れの中で、最も時間と労力の掛かる作業です。



4

完成・放送
スタッフ会議で映像や音声の最終チェックを行い、ようやくテレビで放映されます。写真は完成した番組を各家庭のテレビへと送信する機械です。企画から始まり、一つの番組が完成するまでに、およそ42時間。長い道のりです。

音声告知器を全世帯に無料で設置

全世帯に無料で設置される音声告知器は、火災や大雨などの警報が発令されたときの緊急情報や、地域でのお知らせなどを放送するもので、1世帯に1台設置されます。

また、録音機能により、留守の場合でも後で聞き直すことができます。商店や工場で音声告知器が必要な場合には、申し込みにより無料で設置します。

現在は、ほとんどの世帯で設置が完了していますが、アパートなどの集合住宅については、随時、設置を進めていきます。

合併以前にケーブル網のあった山岡町、串原地域についても、順次機器の設置を行っていきます。

問い合わせ 情報課（内線337・338）(株)アミックスコム ☎0120-927-528（フリーダイヤル）

2011(平成23)年7月24日 アナログ放送が終了します

テレビのデジタル化で、今までにない多様なサービスが実現します。高音質や高画質の配信、データ放送、字幕放送や解説放送などの高齢者や障がい者に優しいサービスなど、アナログ放送ではできなかったサービスが実現します。

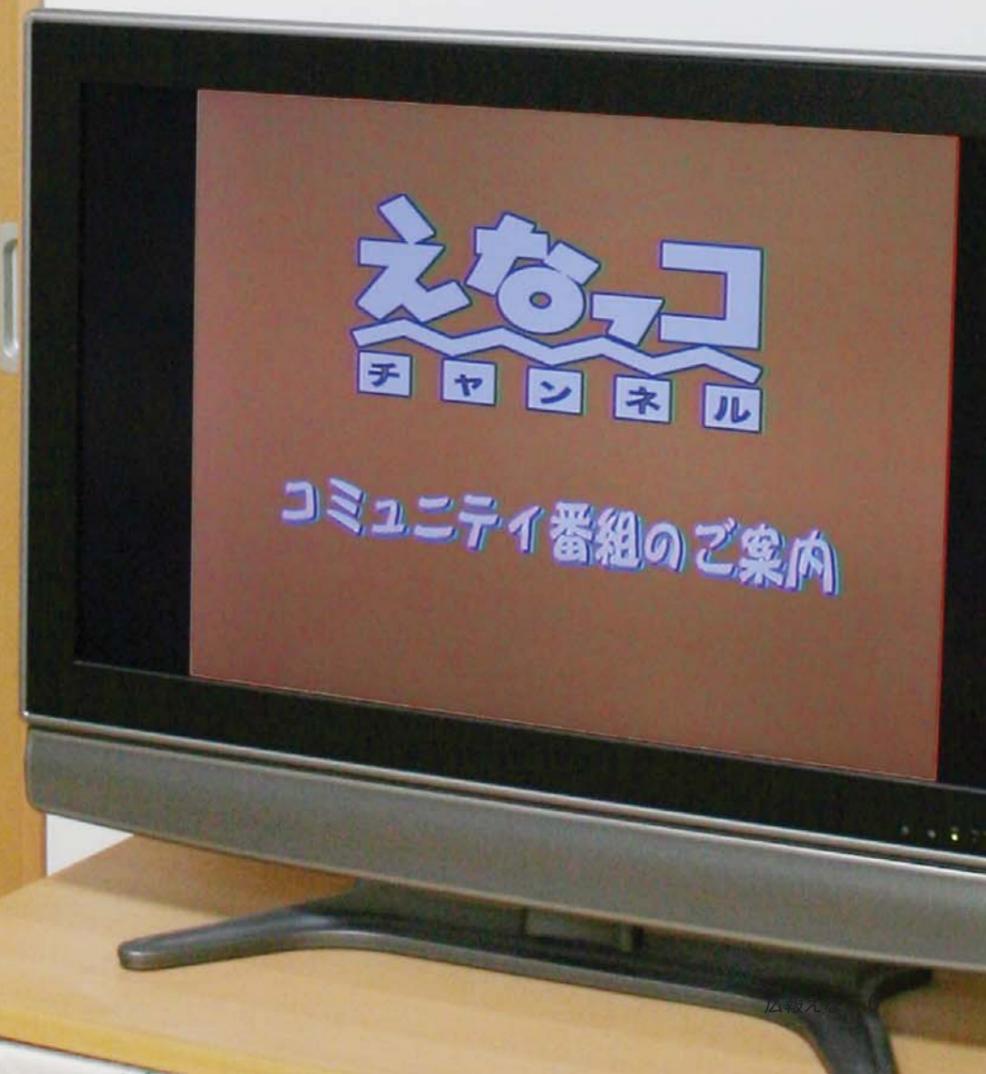
地上デジタル放送を見るには、デジタル放送が受

信できるアンテナを着けるか、ケーブルテレビへの加入が必要になります。

従来のアナログテレビで見るには、デジタルチューナの接続も必要になります。

問い合わせ (株)アミックスコム ☎0120-927-528（フリーダイヤル） またはお近くの電器店

平成21年3月31日
までに申し込めば、
初期登録費用は0円



来年の3月31日申し込み分までで「初期登録費用無料キャンペーン」は終了します。
4月1日申し込み分からは、初期登録費用3万円(税込)が必要になります。ケーブルテレビの利用を予定している方は、お早めに申し込みください。
宅内工事費はキャンペーン期間中でも別途必要になります。
お問い合わせ (株)アミックスコム 0120-927-528 (フリーダイヤル)

インタビュー

えなっコチャンネルは地域密着型で市民専用チャンネル

株式会社アミックスコム
代表取締役 伊藤義仁

市の情報発信の核として、市と民間企業の共同出資で設立した(株)アミックスコム。立ち上げから現在の運営まで、先頭に立って指揮をしている伊藤社長に、「えなっコチャンネル」の魅力と、今後の展望について伺いました。

地域密着型で市の情報専門チャンネル

。これは「えなっコチャンネル」です。市は合併して、広域になりました。自分の住んでいる地域以外のことを知る道具として、13の地域が一体感を持ち一つになるための道具として、多くの方に利用してほしいと考えています。

市民のコミュニティチャンネルとして

市民のコミュニティチャンネルとして、市民同士の情報交流や情報発信にも利用できます。

お互いに地域の情報を発信することで

市全体の情報番組になります。このチャンネルは、市内の情報を市民が知るためにあり、市民専用のチャンネルです。

アミックスクラブは、エナットクラブ

を発展させた形で発足したボランティア団体で、映像やインターネット技術の普及活動をしています。

アミックスクラブの力を借り、市民と協力した番組制作を考えています。

市民がビデオカメラで撮影したものを素材として放送したり、レポーターやアナウンサーとして出演したりするなど、市民参加型の番組を作っていきたいです。そのために、市民の皆さんに撮影技術などを学んでもらいたいと思っています。実現に向けて、アミックスクラブでは、撮影方法や編集の仕方など市民を対象に講習会を開いています。

今は、多くの市民がかかわって

いる番組制作を考え、市民にとって身近なテレビ局になるよう、番組の充実も含めて頑張っています。

プロフィール

いとう・よしひと 1965年生まれ。養老町出身。1995年からISP事業(インターネット接続サービス事業)を起し、先端的な光ファイバーによる光通信事業にチャレンジしている。